

学位論文審査基準（修士課程）

◆経営情報学研究科 起業マネジメント専攻

経営情報学研究科起業マネジメント専攻における修士論文審査は、以下の基準に基づき審査する。

- ①研究テーマについての問題の解明は論理的に適切になされ、研究目的を達成しているか。
- ②注釈、図表など適切に表記しているかどうか。
- ③研究の意義を十分理解し、研究成果の発展の可能性を認識しているかどうか。
- ④研究内容を簡潔にプレゼンテーションし、質問に的確に答えることができたか。
- ⑤論文の分量と構成は適切か。

以上の点を総合的に評価し、主査及び副査は、論文審査における「合」「否」、及び口述試験における「合」「否」を決定し、双方の「合」をもって合格とする。

◆経営情報学研究科 中小企業養成課程

経営情報学研究科中小企業診断士養成における修士論文審査は、以下の基準に基づき審査する。

- ①研究テーマについての問題の解明は論理的に適切になされ、研究目的を達成しているか。
- ②注釈、図表など適切に表記しているかどうか。
- ③研究の意義を十分理解し、研究成果の発展の可能性を認識しているかどうか。
- ④研究内容を簡潔にプレゼンテーションし、質問に的確に答えることができたか。
- ⑤論文の分量と構成は適切か。

以上の点を総合的に評価し、主査及び副査は、論文審査における「合」「否」、及び口述試験における「合」「否」を決定し、双方の「合」をもって合格とする。

◆特定の研究成果の審査を行う場合

登録養成課程を修了した者で、登録養成課程に2年以上在学し、所定の単位を修得、かつ必要な研究指導を受けたことを前提とし、本研究科の目的に応じ適当と認められるときは、特定の研究成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。